

おおくす

<校訓>

- 明るく
- 清く
- 正しく
- 強く

予測困難な時代を生き抜く

校長 伊藤 彰浩

令和2年がまもなく終わろうとしています。今年を振り返ってみると、新型コロナウイルス感染症への対策に翻弄された1年でした。

昨年5月に元号が「令和」に変わりました。その際の『おおくす』では、「令和」について、“春の訪れを告げ見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたい”との願いが込められているようだとお伝えしました。また、年末には1年を振り返り、新しい時代の幕開けの年は、本校にとって幸せな年だったと記しています。

そして今年、たった1年違うだけで、こうも違うものかと改めて思いました。

今年度から学校が基にしている新しい学習指導要領の改訂に込められた思いには「…これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思いを描く幸せを実現してほしい…」というものがあります。これは、10年後の2030年を想定して考えられているものですが、まさか、こんなにも早く予測困難な時代が訪れるとは思いませんでした。

私は、新型コロナウイルス感染症対策に関して、新しい学習指導要領の思いを大人が汲み取り「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、幸せを実現する」に率先して取り組むことが、子どもたちに予測困難な時代を生き抜く力を身に付けさせることにつながると考えています。感染症対策については、合理的で持続可能なものが大切だと考えました。行事を含む学校の教育活動については、「コロナだからできない」ではなく、「コロナだけど、こんなことまでできた」という思いを子どもたちにもたせたいと考えました。2学期が終わろうとしています。授業の遅れを取り返すだけでなく、ほとんどの行事も何らかの形で実施できたことはよかったです。これも、保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力・ご支援があったからこそだと感謝しています。ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の状況は、なかなか快方には向かっていかないようです。週末から冬季休業を迎えますが、できる限り不要不急の外出は控えるようお願いします。また、インフルエンザや交通事故等にも気をつけ、全員そろって3学期を迎えられることを願っています。

皆様、よい年をお迎えください。

学校閉校日にご理解をお願いします

尾張旭市では、冬季休業中に学校閉校日を設けています。

閉校する日は、12月28日(月)と1月4日(月)です。学校閉校日に、緊急を要する学校への連絡がある場合は、尾張旭市教育委員会教育行政課(TEL 0561-76-8178)へお願いします。また、12月29日(火)から1月3日(日)までの年末年始の休業中に、緊急を要する学校への連絡がある場合は、尾張旭市役所代表(TEL 0561-53-2111)へお願いします。



運動会 ～新しい運動会!!～

コロナ禍のさまざまな制約がある中で、工夫しながらの運動会になりました。しかし子どもたちはスローガンの通り「新しい運動会を作るんだ!」という思いをもって取り組み、今まで以上に素晴らしい運動会になりました。

精一杯の力と笑顔と憧れでいっぱい「新しい運動会」でした。

5年野外活動 ～NEWキャンプ～



「NEWキャンプ」を合言葉に、学校でのデイキャンプだからこそ「できること」「したいこと」を考え、それを実現する方法や計画を練って実行することができた野外活動でした。たくさんことができ、よい思い出になりました。

6年修学旅行



新型コロナウイルス感染拡大の影響でどうなることか心配だった修学旅行。無事に行くことができました。保護者の皆様には、子どもたちがよい思い出をつくれるように、様々なところで協力いただき、本当にありがとうございました。



1年生
東山動物園



2年生
名古屋港水族館

3年生
スーパーマーケットと
図書館

社会見学に行ってきました!



4年生
木曾三川公園
輪中の郷

